

新人紹介

浅海干潟研究部 高日新也

平成 21 年度の新規採用職員で、浅海干潟研究部に配属になりました高日新也です。よろしくお願いします。

社会人としても一年生である私にとって、4 月からの生活は緊張の連続でもありましたが、諸先輩方から温かい指導をいただいているおかげもあり、充実した研究生活を送ることが出来ています。



私は主に県内各海域の海水温、塩分、溶存酸素量等の情報をとりまとめ、各機関に情報を発信する漁場環境管理業務を行っています。近年は地球温暖化といったような環境問題が注目を浴びるようになり、現在熊本県では、海水温の上昇といった漁場環境の長期にわたる動向を把握することが重要な課題である、とされています。私はこの業務を、他の多岐にわたる水産研究の礎となる重要な業務ととらえており、とてもやりがいを感じています。

まだまだ覚えることも多く、諸先輩方にアドバイスを頂きながら日々の業務を行っている私ですが、一つ一つのアドバイスを確実に自分のものとし、着実に自分を成長させていくことで、熊本の水産業の発展に貢献していきたいと考えています。



資源研究部 栗元美代子

7 月から熊本県の嘱託職員として資源研究部の一員になりました栗元です。

私が担当する業務は、今年度から始まった有明海再生のための事業で行うクルマエビとガザミの種苗放流の効果調べる業務です。放流効果の調査には、最近よく耳にする D N

A による親子判定の技術を使います。

有明海で漁獲されたクルマエビとガザミを集めるために漁協などに御伺いすることもありますので、その節は、よろしくお願いします。